

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

反田 亮さん	不登校・発達障がい児への対応
	浜田市の小中学生の不登校児童は 10%を超えている。中でも地域の目など気にして学校にいけない引きこもり状態の子が 10%の 2 割くらいいる。（塾生と話してみた感じで） 8 月 25 日メタバースでイベントをした。メタバース（オンラインで人形として参加する空間）で一步目の接点を作り社会的活動（フリースクール、地域経営者との会話など）ができる拠点を作る。成人になるまでに現実社会で生活できるシステム作りをしたい。
	（対応）総務文教委員会で対応する。 （対応先協議結果） 浜田市でも不登校や発達障がい児の対策がされているところです。しかし、様々な対応策が必要であると考えますので、その中でメタバースを利用した拠点も一つの方法であると考えます。取組について更に詳しくお話を伺い調査研究し、市としてどのような支援ができるか検討していきたいと考えます。

稲澤 鈴夏さん	今こそ浜田底上げ—本当の意味の活性化に必要なこと—
	◎市民が行政からの支援を待ったり求めたりしすぎている現実 これでは、行政が何をやっても不平不満しか生まれやすい社会。「魚を与えるのではなくて魚の釣り方を教えることが大切。」という言葉聞いたことがある。住民の主体性を高める、リテラシーを上げるための施策が必要。 ◎パレートの法則があるので浜田市住民も 2：6：2 で分かれている。行動派の 2 割側のリテラシーがあがると、6 割側もついていく。ライフリテラシーという言葉が私はふさわしいのかなと思うが、これから先どんな時代がやってくるのか、先を見据える力、そして最近学び始める人が多いお金のこと、それらを発信したり学んだりできる機会が増えると市民のリテラシー向上に繋がり、長期的な活性化につながるのではないかと考えている。 目先の支援ももちろん大切だが、長期的にみた根本的な解決に関係することを、地域住民と一緒に取り組んでいただけると嬉しい。
	（対応）福祉環境委員会で対応する。 （対応先協議結果） 担当の委員会で、対応策を検討していきたいと考えています。 子育て中の方々がどんなサービスを求めておられるのか、改めてお話をお聞かせいただけませんか。その際には、ご提案者様に加えて、子育て中のご友人などにお声がけいただき、様々な視点でお話ができたら嬉しく思います。お手数をおかけいたしますが、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

中田 歩実 さん	空きビル、空き地などの活用について 現在、浜田市には三桜の跡地、駅前の岩多屋ビルなどの空地や、空き店舗が多く見られます。そこで私は学生などの若い人が活躍できる場所を作ってもらいたいと思いました。 ↓理由 ①遊びに行く場所がない ex:映画館、カフェ、小さい子が遊べるような屋内施設など… もっと若い人たちの意見を取り入れたまちづくりをして欲しい
	(対応) 個人一般質問で取り上げる。総務文教委員会・産業建設委員会で対応する。また、浜田市議会こどもの権利を考える議員連盟にて意見を参考にする。 (対応先協議結果) 12月定例会議の個人一般質問にて取り上げられました。(12月6日(金)西田 清久) (総務文教委員会) 当委員会の議員が一般質問で取り上げたところ、市長から「若い方々からそういったニーズはこれまでも聞いており、今後検討していきたい」との答弁がありましたので、対応を注視してまいります。 (産業建設委員会) これまで発生した空きビル、空き地などは可能な限り有効利用されているものと理解をしております。人口減少、中心市街地の空白化など社会情勢の変化により、空き地等が必要な面積以上に出現しつつあります。今後も中心市街地活性化計画等により、空きビル、空き地などが市民にとって有効活用されるよう働きかけて参ります。

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

棕 本 浩 二 さん	令和6年6月定例会議に提出された請願第11号「学校給食の自然塩（天然塩）使用の請願について」に対する反対意見
	上記請願は合理的根拠が乏しいにも関わらず、大幅な購入費の増額などデメリットが大きく受け入れられません。理由は下記のとおりです。 ・天然塩に含まれるカリウム・マグネシウム・カルシウムなどのミネラルは天然塩のみに含まれるものではなく、野菜・豆類・きのこ類・海藻類・イモ類・乳製品・大豆製品・種子類など多種多様の食物に含まれています。学校給食ではこれらの食物が材料として豊富に使われており、精製塩を天然塩に変えなければミネラル不足になるとは考えられません。様々な食材が値上がりしてるにも関わらず、栄養士や給食に関わる全ての方々の努力で給食費が値上がりしないよう努力していただいている中で、30倍近い購入費の増額に見合うメリットが得られるとは思えません。 ・上記請願の参考文献の著者である三好基晴氏・河名秀朗氏・東城百合子氏・内海聡氏はいずれも著名な方々ですが、その主張には賛否両論があり、一般的に広く受け入れられているとは言えません。個人が自己の責任で自らの生活に取り入れることに異論はありませんが、多種多様な人々が属する学校給食の場において、その主張に沿った変更を受け入れることには拒否感があります。 ・実際に学校給食を食べるのは浜田市に住む小学生・中学生です。その子どもたちや保護者を置き去りにして議論が進むことに不満があります。変更の可否に関わらず、もっと子どもたちや保護者の意見を聞いていただきたいと思います。 「すこやかうま塩給食」や「野菜たっぷり塩ちょっぴりレシピ」などに子どもたちも取り組んでいる中で、また「第4次浜田市食育推進計画」が様々な団体や個人の協力の中で進んでいるにも関わらず、上記請願によって唐突に食材の変更がなされることに違和感を感じます。
	（対応）総務文教委員会で対応する。 （対応先協議結果） この請願は「学校給食の調理すべてに精製塩ではなく自然塩（天然塩）を使用してほしい。自然塩（天然塩）には子どもの成長に大切なミネラルが多く含まれている。」という要望であり、付託された総務文教委員会で6月及び9月定例会議においていずれも賛成多数で採択され、9月定例会議の本会議でも賛成多数で採択されたものです。 一日議会での発言の要点は、天然塩では高額になる、もっと保護者の意見を聴いてほしい、唐突に食材の変更をしないでほしいというものです。6月及び9月定例会議の当委員会の審議においては、食材費増による給食費への影響、給食調理で使用する塩の種類、ミネラルなど他食材による摂取可能性、そのほか塩原材料の調達元や製造方法、商品の種類や流通など、幅広い観点から審議を行い、これらを踏まえ請願の願意をもとに採決を行い、採択の結論を得たところです。 採択された請願については、実施するしないも含め執行部において検討されるもので、一日議会での発言については重要なご意見であり、執行部に伝えるとともに、議会としても重く受け止めたいと考えています。

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございます。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

岩 本 陽 子 さ ん	日脚・長浜地区イラストMAPづくりのご提案
	初めまして。私は今年8月より静岡県牧之原市より移住して来ましたイラストレーターの岩本陽子です。 市内の日脚・長浜地区の景観の美しさに心惹かれました。この地区は海岸から国道に向け、まるで毛細血管のように路地が入り組んでいて迷うほどに楽しく、おまけに道幅もバイク一台通れるほどの幅だったりと車を気にせず安心して散策できる場所です。そして屋根を飾る石州瓦はさまざまな様式があります。 地元の方には見飽きた風景かもしれませんが、私には岩壁のある日本海の美しさと相まってヨーロッパのようです。 これらをイラストMAP化して紹介することで写真や打ち込み文字のそれよりいっそう温かみのある観光ツールになります。「よそ者」の目線が町の宝を発見し、掘りおこす。そして更により多くの方にこの土地を訪れていただきたいと願ってやみません。 (対応) 総務文教委員会・産業建設委員会に対応する。 (対応先協議結果) (総務文教委員会) 市民一日議会における提案については、観光コンテンツであり、まちづくりという観点からも魅力的なコンテンツであると思います。現在浜田市では、「まちづくり総合交付金」をはじめ、様々なまちづくり活動を資金面で支援する制度がいくつかありますので、必要の際はご相談ください。 また、各地域において「まちづくり推進委員会」を設立し、地域活動を行っておられます。現在取り組まれているイラストMAPの作成も素敵な取組ですが、外からの目線で地域を見られる方は貴重な人材であるとも思います。ぜひお住まいの地域のまちづくり推進委員会に関わることも考えていただければ幸いです。その際にはまちづくりセンターへご相談されることもお勧めします。 今後ともまちづくりを所管する委員会として、皆さんの主体的な活動を支援していけるよう努めて参ります。 (産業建設委員会) 浜田の景観の美しさに気付き、取り上げていただいたことを嬉しく感じています。 イラストMAPについては貴重なご意見として受け止め、観光交流課や教育委員会、まちづくり委員会などに情報提供して参ります。

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

高松 頌司さん	若者が自信を持って、活躍できる街を目指して～５億円会議創設のご提案～
	現在、私は３９歳で浜田市においてはギリギリ若者に区分される年齢です。令和６年８月末時点で浜田市の高齢化率は３８．５％に達しており、必要性は感じつつも、今後も自然と市の施策や予算配分が、ますます高齢者を意識したものになるであろうことに非常に危機感を持っております。そこで今すぐにでも、若者への支援という発想から、若者を信頼して浜田市の未来を賭けた事業を任せるぐらいの発想転換をしなければ、浜田市の未来は暗いものになるという強い思いから、「５億円会議」の創設を提案させていただきます。かつて若者だった諸先輩方の応援もいただきながら、どうか数少ない若者が今後の浜田市を盛り上げていけるよう、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。
	（対応）総務文教委員会で対応する。
	（対応先協議結果） 若者が自信をもって活躍できるまちづくりの重要性については、市議会としても深く認識しています。 市の財政規模や既存施策の状況から、新たな事業を開始することは難しいのが現実ですが、５億円規模の金額はともかく、若者等の発想の転換によって目的を実現させる改革に挑戦する気持ちは、真摯に受け止めたいと思います。 現行の若者支援施策の見直しや、ふるさと寄附金を活用した財源確保を含め、さらには若者の声を反映する施策に力を入れる先進地への調査研究にも取り組んでまいります。

宮木 竜一さん	浜田市世界こども美術館の持続化に向けて
	浜田市世界こども美術館は、子どもの情操教育に重要な施設ですが、維持費が高く、現状のままでは市の財政負担が大きくなり、将来的に維持が難しくなるのではと危惧しています。その解決策の一つとして、スターバックスコーヒーの誘致を提案致します。
	（対応）個人一般質問で取り上げる。総務文教委員会で対応する。また、スターバックスコーヒーについては市民の誘致活動をぜひお願いしたい。議員個人でも対応する。
	（対応先協議結果） 12月定例会議の個人一般質問で取り上げられました。（12月5日（木）牛尾 昭） （総務文教委員会） 少子高齢化、人口減少が続く中で厳しい運営を行う公共施設は、再配置と併せ、今後の在り方は大きな課題と認識しています。財政負担の軽減を図る上で既存の運営方法では継続が困難な施設が出る可能性も考えられることから、公共施設における収益事業、民間企業との連携による施設の複合化の可能性について、先進事例等の情報収集を行い、今後の公共施設の在り方について調査、研究したいと思います。

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

宅間 優希さん	若者が輝ける社会を作るために～学生起業家を育てる～
	私は数年前から起業家になりたいという思いがあり、スキルを磨きながら現在は個人事業主として動画編集を中心に活動しています。しかし、私の周りには夢を持つこともできない学生が多数います。なんとなく進路を決めている学生です。私は多くの学生、若者が夢を持つには起業家精神を育てることが大事だと考えています。今現状、浜田商業高校で行われている起業家教育も座学を中心に行われています。これでは意味がないと考えています。そこで、中高生に対し、実際に模擬会社を起業させる、起業体験プログラムを組み、実体験を通じて学びを深めることで社会とのつながりを持ち、夢をさがすきっかけを作ることが重要だと考えました。浜田市政に求めることは、このプログラムを通じて実際に起業を行う際に必要になる費用の補助です。あくまでも模擬なので大規模なお金が動きませんが、試作品づくりなど、どうしてもお金がかかることがあります。そういった活動を支援する補助金を考えていただきたいです。
	(対応) 個人一般質問で取り上げる。産業建設委員会に対応する。 (対応先協議結果) 3月定例会議の個人一般質問で取り上げられる予定です。 (産業建設委員会) 浜田の方が地元で起業する夢を持ち、チャレンジしたいと思っておられることが分かり、大変心強く感じております。 浜田市では商工会議所などと連携して「活力あるもの・ひとづくり支援事業補助金」や「創業者支援資金補助金」など、起業やものづくりに対する支援を行っています。市のホームページなどでなかなか欲しい情報にたどりつけないこともあるかと思います。担当委員会として、様々な情報が届きやすくなるよう関係部署に働きかけて参ります。

矢口 伸二さん	浜田地域の持続可能な地域づくりに向けて「浜田地域循環共生協議会」
	「浜田地域循環共生協議会」は、地域コミュニティ（自治体・企業・経済団体・市民・教育機関・NPO）をつなぐ中間支援組織となるとともに、施策立案・調査研究・人材育成・ノウハウの蓄積まで一貫した活動を展開します。またスマートシティ構想や脱炭素を起点に新たな事業創造や地域連携を目指し、異業種・異文化連携や交流・世代や企業を超えた学びの場として「ヒト、モノ、カネ、情報」の循環を促進し持続可能な地域づくりと豊かな生活の創造に貢献し、ともに創り上げてまいります。近年、地域を取り巻く社会の変化は激しさを増し、そして不確実で複雑化する社会となる中、地域課題も多様化し解決が難しくなっています。そこで地域課題を解決するために地域コミュニティと協調し取組むことが必要と考え「浜田地域循環共生協議会」を発足しました。市議の皆さまにも是非ご支援いただきたく、紹介いたします。
	(対応) 個人一般質問で取り上げる。議員個々または各会派で対応する。 (対応先協議結果) 12月定例会議の個人一般質問で取り上げられました。(12月3日(火) 川上 幾雄)

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

岩 藤 由 起 恵 さ ん	折居駅の活用について
	”私は現在、浜田市地域おこし協力隊として活動しており、浜田の海と夕日に惚れ込んで広島から移住してきて3年目になります。3年の任期終了後、浜田市で海と夕日の見えるカフェをやりたいと奔走しているところです。縁あって折居駅の現状を知りました。折居駅は今年100周年を迎えましたが、JRは駅舎の老朽化などを理由に撤退したい意向であると聞いています。西浜田駅のように駅舎がなくなってしまうのは非常にもったいないと思います。なぜなら、 ・ 駅舎から海までの距離が日本で最も近い ・ 折居駅の踏切が人気ボカロ曲「少女レイ」のMVで登場する踏切ににているとSNSで話題になり、県内外から多くの若者が折居駅を訪れている ・ 日本初の缶コーヒーを作った、ヨシタケコーヒーの三浦義武さんが利用していた駅である という特殊な駅であるからです。 JRが一般市民に駅舎を譲渡することは難しいらしいので、浜田市に譲渡してもらった上で、大麻地区の皆さんと協力して活用していけば、地域活性化につながると考えます。浜田市民はもちろん、県外の人にも浜田市を知って訪れてもらう機会になると思います。 活用方法については ・ ヨシタケコーヒーに関連したもの ・ 浜田の食材を使った焼菓子、パンなどのテイクアウトショップ、カフェ ・ リモートワーク用個室 ・ ビール列車、スイーツ列車などのイベント開催 ・ 住める駅舎（お試し移住など） など、様々な視点から考えられますし、市民から公募してもおもしろいかもしれません。 参考事例：江津市波子駅、益田市津田駅、山口市三見駅、鳥取県下市駅、下関市阿川駅”
	（対応）個人一般質問で取り上げる。 （対応先協議結果） 12月定例会議の個人一般質問で取り上げられました。（12月6日（金）西田 清久）

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

三橋 巧弥さん	学生の“やりたいこと”が叶えられる場づくり
	“やりたいこと”を抱えている島根県立大学の学生は、自分のやりたいことをブラッシュアップから実現まで伴走してくれる仕組みのある浜田市外の江津市や益田市などへと流れていくことが多い現状にあります。また、学生の中には、何かやってみたいけど何から行動を起こせばいいのか分からない人たちもいます。このような学生が、浜田市内で“やりたいこと”を見つけたり、叶えたりするために、どのようなプロセスが必要かを学べる場づくり、“やりたいこと”の実現に向けて、中長期的な伴走サポートなどの仕組みの必要性について提言します。 (対応) 個人一般質問で取り上げる。総務文教委員会で対応する。 (対応先協議結果) 3月定例会議の個人一般質問で取り上げられる予定です。 (総務文教委員会) まちなか交流プラザでは、交流スペースを設け、大学のゼミ活動、浜田市の情報発信などを行っており「学生の『やりたいこと、が叶えられる場づくり』となるよう、関係組織団体との連携を図り、県立大学連携交流課との情報を共有するとともに、若者支援の仕組みづくり、学生への伴走サポートなど、まちなか交流プラザの機能を充実するよう働きかけてまいります。